

草の根・人間の安全保障無償資金協力で脆弱な人々のためのがん検診活動を支援

10 月 30 日、牛尾滋駐南アフリカ共和国特命全権大使は、当地非営利団体ピンク・ドライブ (PinkDrive) による最新のマンモグラフィを搭載した新型トラックの発表式典に出席し、3 Dマンモグラフィ機器の引渡しを行いました。同機器の調達は、日本大使館が草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて協力したものです。同式典には、同団体の活動を支援・協力を行っている多数のドナー関係者及びハウテン州保健局の関係者が出席しました。

ピンク・ドライブは、乳がんをはじめとするがんの早期発見と啓蒙を推進し、予防することを目的に、2009 年に設立した非営利団体です。日本大使館は、富士フイルム社の協力の下、同団体が最新の技術を備えた 3 Dマンモグラフィをトラックに整備するための協力を行いました。このトラックは、移動式がん検査車両として、南アフリカの農村部や恵まれない地域に住む住民を対象に、がん検診及び診断を行い、乳がん等のがんを早期に発見するために運用される予定です。

日本政府は、経済・社会的格差の是正を南アフリカ共和国に対する開発協力方針の優先分野のひとつに掲げています。牛尾大使は、式典の挨拶で「本日、進水するマンモグラフィを搭載した新型トラックが、支援を必要としている何百、何千もの人々のもとを訪れ、日本の人々と南アフリカの人々の友好の証であり続けることを期待しています。」と述べました。

